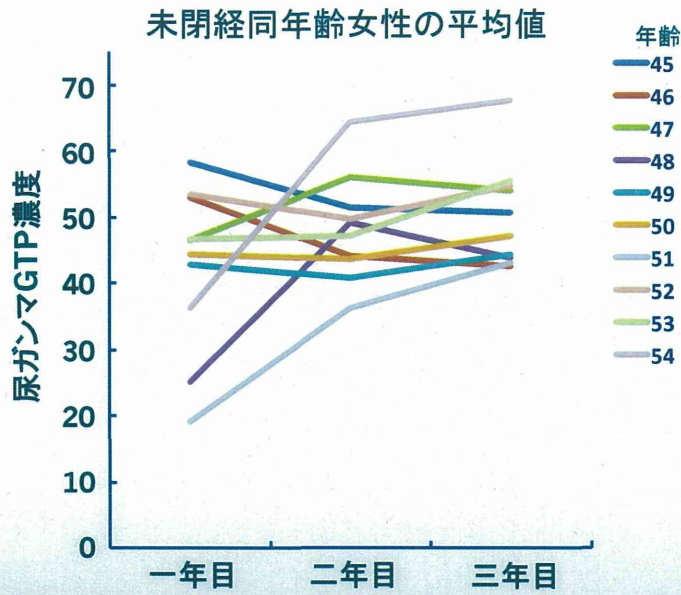


尿ガンマGTPの年次変化



閉経が近づくにつれて尿ガンマGTP値が上昇している傾向が認められる

尿ガンマGTPの変動から見えること



閉経が近づいてくると徐々に尿ガンマGTP値が上昇



骨量減少症を呈する

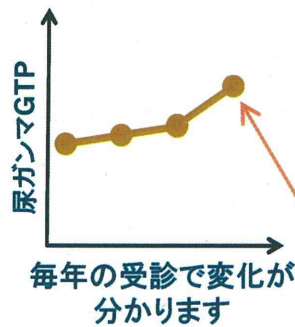


早期発見により骨粗鬆症を予防できる可能性

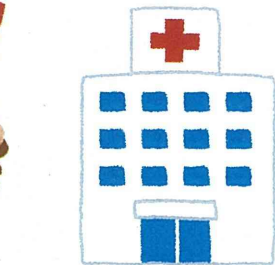
骨粗鬆症の予防に向けてのイメージ

～尿ガンマGTPを検診で利用した場合～

まず自分の**基準値**を知りましょう



尿ガンマGTP値が急に高くなった！



病院で骨粗鬆症の検査を受けてみましょう

骨が減ってきたサイン
かもしれません

全身の
骨密度測定を
おすすめします！

簡便な骨の検診法を目指して★

- ガンマGTPが中高年の尿にたくさん排出されていました
肝機能のガンマGTPとは異なります！
- 尿ガンマGTPは、骨量減少症で高値を示すことがわかりました
- 骨が減る前段階でスクリーニングできる可能性があります
- 尿を用いることで、体への負担や手間が軽減されます
- 測定装置がいらないので、手軽に調べられます
- まだ研究段階の検診法です
- みなさんに手軽に利用していただけるよう、頑張っています！

骨を減らさない！折らせない！

スカスカになった骨を元に戻すのは困難！
いかに減らさないように気をつけるかが大事！

骨粗鬆症の予防に注目してみませんか？



尿マーカーを用いた骨粗鬆症検診の有用性の検証と
骨折予防効果に関する研究

平成 24 年度~25 年度総合研究報告書 及び 総括・分担研究報告書
(H24・長寿 - 一般 - 007)

平成 26 年 5 月 発行

研究代表者 新飯田俊平

厚生労働科学研究費補助金

